

【概要版】

●墨田区障害福祉計画【第5期・第6期】・墨田区障害児福祉計画【第1期・第2期】

I 計画の期間・位置づけ

計画の期間	障害福祉計画【第5期】：平成30年度から令和2年度までの3年間 障害福祉計画【第6期】：令和3年度から令和5年度までの3年間 障害児福祉計画【第1期】：平成30年度から令和2年度までの3年間 障害児福祉計画【第2期】：令和3年度から令和5年度までの3年間
計画の位置づけ	両計画は、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害者児の地域生活を支援するためのサービス基盤整備等に係る計画最終年度末の数値目標や、各種障害福祉サービス等の見込み量を設定するとともに、各サービスを提供するための体制の確保を図る計画であり、地域福祉計画及び障害者行動計画の内容を踏まえ、その内容を定めている。

II 令和2年度

1 事業実績

令和2年度事業実績について、主なものは以下のとおりである。

- (1) 福祉施設から一般就労への移行等
 - ・ 就労移行支援事業所8事業所のうち、就労移行率が3割以上である事業所数は75%（6事業所）と目標である5割を上回った。
- (2) 障害児支援の提供体制の整備等
 - ・ 区内で放課後等デイサービス事業所の新規開設が3件、児童発達支援との多機能の開設が1件あった。
 - ・ 医療的ケア児支援の充実を図るため、「墨田区医療的ケア児に関する庁内連携会議」を2回開催し、「医療的ケア児に関する協議会」を文書開催した。

2 事業評価

事業数及び評価

評価	A	B	その他
計画書掲載 事業数 41事業	37事業	4事業	0事業

A：計画どおり進んでいる場合

B：計画に遅れが生じている場合

その他：計画の見直し等の必要が生じている場合等

評価「B」事業一覧

	事業番号	事業名	説明
1	第1-(1)①	入所施設からの地域生活移行者数	目標値を下回った。
2	第1-(4)①	福祉施設利用者からの一般就労移行	目標値を下回った。
3	第1-(4)④	就労定着支援による職場定着率	目標値を下回った。
4	第2-7	就労継続支援B型	工賃額が目標水準には達しなかった。

3 目標と実績についての分析

本計画における各事業において、概ね計画通り実施されているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全般的にやや見込みを下回っている。

「就労移行支援事業」の実績については、見込み数を大幅に超えており、ニーズ量に対応した適切な対応に努めている。

「就労定着支援による職場定着率」については、今回が2年目の実績評価となるが、徐々に目標値に近づいており、今後も継続した支援に努める。

「障害児支援の提供体制の整備等」については、児童発達支援と放課後等デイサービスの利用者数は見込みを上回ったものの、近年では初めて利用量が見込みを下回っており、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛の影響とみられる。しかし、実績としては依然高い水準にあり、事業所も増加傾向にあることから、引き続き適正な支給決定に基づく円滑なサービス提供を図っていく。

III 令和3年度

1 事業計画

令和3年度事業計画について、主なものは以下のとおりである。

(1) 地域生活支援拠点等の整備

重度知的障害者グループホーム（ほーむきらきら星）に地域生活支援拠点の機能を付加して運用を開始するとともに、精神障害者の地域支援を行う面的な体制整備を進める。

(2) 障害児支援の提供体制の整備等

- ・ 医療的ケア児を支援するため、保健、医療、障害福祉、保育、教育の関係所管が連携し、共通の理解に基づく連携会議を開催する。
- ・ 令和2年度に区内において3件の放課後等デイサービス事業所の新規開設があり、今後もさらに開設が見込まれる。

2 事業計画に対する考え方

新型コロナウイルスの感染の動向とそれがサービスに及ぼす影響が依然不透明であることから、柔軟な計画の運用を図る。